

# 議会

## - 第2回定例会 -

6月17日に招集された第2回定例会町議会は、20日、全日程を終えて閉会しました。定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。広報では、山本町長と下川教育長の行政報告の概要についてお知らせします。

### 町長行政報告

#### 1 マイタウン30委員会の開催について

町は「開かれた行政の推進」と「まちづくりへの町民参画」を目的にマイタウン30委員会を設置しています。これまでの間、当委員会への協議、提案の方法、あるいはいただいた意見の活用方法など、同委員会の運営と運用について課題を抱え、改善の方策について議論を重ねてきました。

令和5年2月の開催以来、協議を重ね、マイタウン30委員会の改革案の策定を終えましたので、町総合計画の進捗状況などまちづくりの現状報告と併せて改革案の協議のため、委員会を開催しました。

翌6月7日午前11時頃、判官館森林公園岬付近の遊歩道に熊の糞らしき物があるとの通報があり、町職員が現地調査をしたところ熊の糞であることを確認したため、前日と同様、町の各種情報通信によって町民周知を図ったほか、キャンプ場をはじめ必要箇所の閉鎖と注意喚起の看板を設置するなど、公園利用者の安全確保を図るとともに、市街地および節婦市街地における広報を行いました。

6月12日には、朝日の森に事務所を構える株式会社m mガードの協力を得て、ドローンによる上空からの調査を実施しましたが、熊を確認するには至りませんでした。十分に確認作業などを尽くしましたが、安全確保を徹底するため6月内はキャンプ場および遊歩道の利用は中止することとしています。

6月13日午前5時30分頃、西泊津の牧場坂路調教施設付近で体長およそ1メートルの熊、1頭の見撃情報があったほか、同日午後2時15分頃、新冠共同墓地付近を走行中の車両ドライバールから、体長およそ1.5メートルの別個体と思われる熊、1頭の見撃情報があり、いずれにおいても現地確認を行い、静内警察署と情報

同委員会は、3月21日、20名の委員が出席し、役場会議室において開催しました。

委員会では、新たなマイタウン委員会を、10代から70代までの自薦による男女で構成し、進行しているまちづくり事業について意見、感想を述べ、これらの声を行政と議会が共有するというマイタウン委員会の改革案について提案したほか、日高徳洲会病院の立地協定、あるいは役場裏の民有地の取得について町から報告しました。

いずれの提案、報告も承認をいただき、新たなマイタウン委員会については、若年世代の意見聴収など幅広い意見を徴することに各委員の賛同を得るに至りました。

町は、さまざまな広聴事業を実施していますが、まちづくりのニーズに合わせて、より効果的な手法へと広聴事業を改めていくことが必要です。この度、マイタウン30委員会は、各分野の有識者による委員会を若年層を含めた幅広い世代から意見と感想をいただく委員会へと変更しますが、今後も新たな課題を認識したときは、速やかに解決に向けた調整をすることでより効果的な広聴事業となるよう努めていく所存です。

#### 2 機構改革について

町では、本年4月1日付けおよび6月1日付けで機構改革を行い、庁

の共有を直ちに行いました。

町はいずれの見撃情報においても町猟友会ハンターとの地域巡回、町の各種情報通信による情報発信と広報車による注意喚起、更にはチラシの配付による住民周知を実施しました。また付近公共施設であるパークゴルフ場の閉鎖と温泉施設駐車場における投光器・監視カメラおよび注意看板を各2機設置しました。

短期間に複数の熊目撃があり、町は同時に複数箇所での安全確保対策を講じることとなりました。施設利用者などの町民の皆さんにはご不便をおかけすることがあると思います。町民を含めた利用者の方々の安全を確保するためであることをご理解いただいたき、町民皆さんのご協力を得ながら不測の事故が生じることのないよう、迅速かつ出来る方策を尽くし、最善の対応に努めて行く所存ですので、よろしく願います。

### 町長行政報告

#### 1 第9次新冠町社会教育中期計画の策定について

新冠町教育委員会では新冠町のまちづくりに関する最上位計画である「第6次新冠町総合計画」に基づき、新冠町の教育、学術および文化振興に関する「新冠町教育大綱」が令和3年4月に策定されております。これらの上位計画の下、社会教育

内組織の見直しを行いました。先ず、4月1日付けで、総務課内に「行政DX推進係」を、産業課内に「鳥獣被害対策推進室」を設置しました。

行政DX推進係は、急速に進展する社会のデジタル化や、国が推進する自治体DX推進方針へ対応するため、全庁的な調整・推進体制が必要と考え、専任職員1名を配置したものです。国より、地方公共団体がオンライン化を推進すべき手続きが多く、オンライン化の推進により、町民の利便性の向上や行政運営の効率化を図られる業務を検討し、計画的に推進していきます。

また、鳥獣被害対策推進室は、近年、熊や鹿をはじめとする野生鳥獣による農作物被害や住民生活への影響が顕在化しており、特に熊が出没した際には、現地確認や関係機関との連携、住民周知、捕獲対応など一連の対応を短期間に、集中的に行う必要があることから、産業課全体で一体的に取り組む体制を構築したものです。今後におきましても、鳥獣被害対策には迅速に対応し、被害の未然防止と被害軽減に向けて対応する所存です。

また、6月1日付けには「ふるさと納税推進室」を設置しました。ふるさと納税推進室は、プロジェクトチームとして設置をしたもの

における基本目標の達成を目指し、より具体的な施策を進めるために第8次社会教育中期計画を令和3年度より5カ年の計画期間に定めておりますが、この第8次の計画策定期間が本年度をもって終了となることから、新たに「第9次新冠町社会教育中期計画」を策定するものであります。

計画策定にあたり、第6次新冠町総合計画の理念である「思いやりと笑顔あふれる『レ・コードなまち』にいかっぷ」を念頭に持続可能なまちづくりを目指し、新冠町における社会教育の基本目標を設定した計画を策定いたします。その際

- ① 現計画の検証、評価、課題の抽出
- ② ウェルビーイングの考えに基づいた社会教育の将来像の考え方の分析、検討
- ③ 社会教育推進の策定について、
- ④ 少子化・担い手不足・異文化交流・デジタルリテラシー

など新たな課題への対応を主な観点とし、新冠町社会教育委員および新冠町スポーツ推進委員からなる新冠町社会教育中期計画策定委員会を構成し計画づくりを進めていきます。

#### 2 レ・コード館における科学工房の利用について

レ・コード館科学工房につきましては、令和7年3月31日まで新冠町商工会がジュニアLabo事業と

で、ふるさと納税を担当する総務課と企業版ふるさと納税を担当する企画課の職員から選抜し、兼務発令をしたものです。

ふるさと納税は、自主財源に乏しい当町にとって貴重な財源となりますとともに、地場産業振興の一助となる制度でございますので、なお一層の推進を図るべく推進室を設けたもので、庁舎内の横断的な体制や地元事業者との更なる連携強化を通じて、町の活性化に貢献できるよう努力します。

#### 3 熊出沒に係る対応について

6月6日午前0時29分、節婦町の国道235号線を新冠町方面に走行中の車両ドライバールが体長およそ2メートルの熊を目撃したとの通報が静内警察署に寄せられた旨、同署から連絡がありました。

町は、同日午前中に各種情報通信を活用して町民周知を図ったほか、午後には節婦市街地を中心に周知チラシの配付と広報車による注意喚起を行いました。

また、日高軽種馬共同育成公社に対し、警戒を呼びかけると同時に箱ワナと監視カメラを熊の活動予想箇所に設置しました。

加えて、熊の出没箇所は、スクールバス運行路線に隣接していたことから、小中学校の保護者に対し、校務支援システムを活用し、熊出沒状

して施設利用していましたが、事業が移転した後は、今後の方針が定まっていなかったことから、青年団体の会議での利用や、4月29日に開催したSTVラジオの公開生放送の会場として利用するなど、教育委員会の主催事業での利用を進めてい

ました。

科学工房は、レ・コード館の入口に最も近く、中の様子が見え、入りやすく開放感があること、靴を脱いで寛げるスペースがあること、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の機能を有することなど、さまざまな利点を有することから「町民がより利用しやすい公共施設」をコンセプトに今年度については、誰もが利用しやすい空間として試行的な利用を展開し、どのような形での利用が有効か検証したく考えております。

一つ目にキッズスペースとしての開放、二つ目に写真や絵画などの展示スペースとしての活用、三つ目に図書プラザ主催のクーリングシェルター機能を活かした映画上映、四つ目に読み聞かせスペースとしての活用、五つ目にボランティア活動の拠点スペースとしての活用など、いずれもフリースペースとしての活用を基本に進めていきたいと考えております。

なお、開設につきましては7月7日を予定し、準備を進めております。